

1. 各種委員会・部会報告

① 介護保険推進委員会

平成30年4月1日の改正介護保険法の施行並びに介護報酬改定の会員事業所の経営への影響について実態調査を行い、調査結果に基づき適正な介護保険制度・報酬の確立に向けて、厚生労働省・国会議員と意見交換・提言を行った。その概要については、ホームページに掲載するほか、令和2年3月23日の総会及び本会機関紙「かけはし」号外で報告した。調査結果をホームページに掲載して会員に情報提供した。

また、介護保険に関する相談窓口を設置し、県民からの介護保険制度の利用に対する相談に応じた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護保険 推進委員会 (5回)	4月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業報告について 2. 平成31年度事業について ①調査研究事業 ②介護保険研修会	県老協 9名 オブザー バー 1名 県庁1名 調査会社 1名
	6月12日	市総合福祉 センター	<協議事項> 1. 令和元年度事業について ①調査研究事業 ②介護保険研修会	県老協 9名 オブザー バー 2名 県庁1名 調査会社 2名
	9月24日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度事業について ①調査研究事業 ②介護保険研修会	県老協 11名 県庁1名 調査会社 2名
	10月23日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度事業について ①調査研究事業	県老協 8名 県庁1名 調査会社 1名
	1月23日	県福祉センター	<報告事項> 1. 厚生労働省との勉強会について <協議事項> 1. 令和元年度事業について 2. 令和2年度事業について	県老協 11名 県庁1名 調査会社 1名
要望書 検討会議	10月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度要望書について	県老協 5名 調査会社 2名
調査研究事業	介護報酬改定に伴う事業所運営への影響に関する調査			

② サービス評価委員会

会員特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に、本年度は評価 13 施設、再評価 2 施設を訪問し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書にまとめ一般に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
班長会議	4月15日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サービス評価事業について <ul style="list-style-type: none"> ・班長の役割について ・タイムスケジュールについて ・委員心得について 2. 令和元年度のサービス評価事業のあり方 <ol style="list-style-type: none"> ①委員名簿・班構成 ②令和元年度サービス評価事業実施予定施設 ③今年度のすすめ方 <ul style="list-style-type: none"> ・実施施設説明会 ・再評価実施施設説明会 ・委員勉強会 3. 令和元年度サービス評価事業実施予定施設 4. サービス評価希望項目について 5. 平成30年度サービス評価事業報告書について <ul style="list-style-type: none"> ・よい事例 ・特徴的なサービス事例 	5名
実施施設説明会	7月2日	県福祉センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施施設の紹介 2. 概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施要綱 ・サービス評価委員名簿 ・当日タイムスケジュール <p>【事前提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設データ ・職員状況（常勤・非常勤、男女） ・利用者の状況 ・サービス評価希望項目 <p>【実施後提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施施設所感文 ・サービス評価事業総括票 <ol style="list-style-type: none"> 5. 実施視察日程について 6. 質疑応答 	13施設 22名
再評価・実施施設説明会	7月2日	県福祉センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施施設の紹介 2. 概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 再評価事業のあり方について 5. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施要綱 ・サービス評価委員名簿 ・当日タイムスケジュール <p>【事前提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設データ ・職員状況（常勤・非常勤、男女） 	2施設 5名

			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況 ・サービス評価希望項目 【実施後提出資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施施設所感文 ・サービス評価事業総括票 6. 実施視察日程について 7. 質疑応答	
サービス評価委員勉強会	9月5日	県民会館	1. 委員・事務局紹介 2. サービス評価について 3. サービス評価の意義と活用 4. 実施日並びにタイムスケジュールについて 5. 事前資料（現状・課題）の確認方法 6. 報告書の作成について 7. 委員の心得について 8. 『サービス評価事業の意義と活用』 『受審施設の最近の動向について』 関西福祉科学大学 社会福祉学部社会福祉学科 助教 種村理太郎氏 9. 各職種別意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・各評価項目確認について統一すべきポイント ・実施視察において統一すべきポイント 	22名
評価事業実施施設	9月～2月	各実施施設	地域密着型千草たちばなプラス、あそか苑みずほ、やすらぎの里ひだか、オーキッド、玄武会ヒルズ、地域密着型しのべの里、さくらの苑、アマリス、あおやま、泉の杜、みずき、大津みやび野ホーム、キャッシル真和 さんすい園、みどり園 （サービス評価実施報告書参照）	評価 13施設 再評価 2施設
総括会議	3月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度サービス評価事業について ①令和元年度サービス評価事業公表まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的なサービス事例 ・実施施設「良い現状」事例 ・実施施設全体の総評（班長） 	20名
発行物	「サービス評価事業報告書-令和元年度版-」 （部数）冊子 800部（配布先）会員施設・関係団体			

③ 調査研究委員会

今年度より「働き方改革」が実施され、その中でも介護事業の効率化が問題視されている。平成31年度は、『生産性の向上』をテーマに勉強会を開催し、会員事業所への調査を行った。

また、平成29・30年度に実施した「外国人労働者に関する意識調査」をテーマにした、会員調査、座談会を報告書にまとめた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
調査研究委員会 (5回)	4月5日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成30年度事業報告 2. 平成31年度事業計画 <協議事項> 1. 冊子作成について	10名
	7月29日	県福祉センター	<協議事項> 1. 調査アンケートについて	中止

	8月28日	県福祉センター	<協議事項> 1. 調査アンケートについて	7名
	11月22日	県福祉センター	<協議事項> 1. 事前アンケートについて 2. 本調査アンケート内容について	8名
	3月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 調査アンケートについて	中止
勉強会	6月17日	ホテル竹園	勉強会 「介護分野の生産性の向上について」 株式会社エヌ・ティ・ティデータ経営研究所 足立圭司氏	13名
調査結果	「介護人材確保のために外国人介護人材受け入れの現状と課題」 (種別) 冊子 550部 (配布先) 会員事業所、関係団体			

④ 編集委員会

会員施設が実施している事業やサービスの内容等を広く県民に情報発信するとともに、会員相互の情報や意見の交流を目的とした機関紙「かけはし」を3回発行・配布し、併せてホームページ上に掲載した。

なお、第104号は「ひょうごケア・アシスタント制度」、第105号は「全世代型社会保障改革」を特集し発行した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
編集委員会 (3回)	8月2日	兵庫県民会館	<報告事項> 1. 平成30年度事業報告について <協議事項> 1. 令和元年度事業計画について 2. かけはし103号について 3. かけはし104・105号について	9名
	11月27日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし104号について 2. かけはし105号について 3. 令和2年度事業計画について	8名
	2月28日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし105号について 2. 令和2.3年度印刷会社選定について 3. 令和2年度事業計画について	7名
発行物	「かけはし」 103号・104号・105号 (部 数) 2,000部 (時 期) 8月・12月・3月 (配布先) 会員施設、関係団体			

⑤ ケアプラン委員会

本年度は、ケアプラン作成担当者を対象に「包括的自立支援プログラム」の浸透を図るべく、基礎研修会を実施し、また実地指導（監査）時の留意点に関する研修会を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン委員会 (5回)	5月13日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成30年度事業報告(案)について 2. 平成31年度事業計画(案)について <協議事項> 1. 実態調査(アンケート)について 2. 参考事例について	10名
	6月19日	県福祉センター	<協議事項> 1. 共通事例について 2. アンケートについて 3. 研修会について	9名
	8月20日	県福祉センター	<協議事項> 1. 提出共通事例について 2. 10月開催予定研修会について	9名
	12月13日	原田の森	<協議事項> 1. 研修会結果について 2. 令和2年度事業計画について	9名
	3月19日	県福祉センター	<協議事項> 1. 研修会について 2. 実態調査アンケート内容について	中止
ケアプラン基礎研修 (2回)	7月8日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームこぶし園 竹内幸一氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 共通事例概要説明 特別養護老人ホーム瀬戸内ホーム 森安志津雄氏 共通事例提出に関するオリエンテーション	24名
	8月29日	県福祉センター	事例演習① 事例演習② 参考事例説明『テーマ・優先順位・3ヵ月後の経過』 特別養護老人ホーム瀬戸内ホーム 森安志津雄氏 講義①『研修の総括』 邊見 豊氏	22名
ケアプラン研修会	10月24日	県福祉センター	講義①『実地指導(監査)時の助言、指導内容を踏まえた施設サービス計画書の作成時における留意点』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	34名
ブロックケアプラン研修会	ブロック	実施日	場 所	参加人数
	東播磨	12月4日	小野市うるおい交流館エクラ	29名
	姫路	1月25日	姫路商工会議所	20名

	淡 路	11 月 18 日	洲本市健康福祉館	32 名
委員派遣 事業	12 月 4 日	小野市うるおい 交流館エクラ	【東播磨ブロックケアプラン研修会】 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	
	1 月 25 日	姫路商工会議所	【姫路ブロックケアプラン研修会】 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	

⑥ 研修委員会

会員事業所のニーズに沿いながら、職員・施設長を対象にサービスの質の向上等、専門的かつ充実した内容の研修を企画開催した。特に職員研修においては「認知症高齢者とのコミュニケーション～心との対話」をテーマで実施した。近畿老人福祉施設協議会施設長研修会をもって施設長研修会とし、「2040年問題」を中心としたテーマで開催した。また、職員向けに終末期対応向上研修を2回開催し、広く県民参加型の終末期ケア普及フォーラムを実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修委員会 (4回)	4月26日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成30年度事業報告について <協議事項> 1. 平成31年度事業計画について ・職員研修 ・施設長研修 ・介護職員等の終末期対応向上研修会 ・終末期ケア普及フォーラム 2. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について	8名
	8月8日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度事業計画について ・職員研修 ・施設長研修 ・介護職員等の終末期対応向上研修会 ・終末期ケア普及フォーラム 2. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 3. 謝金規程について	9名
	10月30日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について <協議事項> 1. 終末期ケア普及フォーラムについて（介護の日イベント） 2. 職員研修について 3. 施設長研修について 4. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について	8名

	1月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護職員等の終末期対応向上研修会1回2回について 2. 終末期ケア普及フォーラムについて 3. 職員研修会について <協議事項> 1. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 2. 令和2年度事業計画について	7名
介護支援 専門員 実務研修受講 試験対策 模擬試験	9月8日	兵庫県のじぎく 会館	模擬試験 講師による模擬試験ポイント解説 笠松町地域包括支援センター センター長 荒木篤氏	総数 31名 (会員29名 非会員 2名)
施設長 研修会	1月28日 ～29日	神戸メリケンパ ークオリエンタ ルホテル	【1日目】 行政説明① 『全世代型社会保障改革の動向』 厚生労働省 大臣官房審議官 (総合政策担当) 中村博治氏 講演① 『関西広域連合の9年間の取組』 『2030年を見据えた兵庫の高齢者施策』 兵庫県知事 井戸敏三氏 講演② 『清水の舞台から』 清水寺貫主 森 清範氏 【2日目】 講演③ 『日本(関西)の進路を読み解く』 大阪総合研究所 代表 辛坊治郎氏	総数 381名 (会員161名 その他220 名)
職員研修会	11月29日	兵庫県私学会館	講義 『認知症高齢者とのコミュニケーション ～心との対話』 演習 『様々なワーク (体験学習)』 関西福祉科学大学 社会福祉学部 教授 都村尚子氏	82名
介護職員等 終末期ケア 対応向上 研修会	9月5日	兵庫県のじぎく 会館	講義 『人生の完成期 ～あなたはどこでどのよ うに過ごしたいですか?～』 医療法人社団 関本クリニック 理事長 関本雅子氏	57名
	10月17日	姫路市総合福祉 会館	医療法人社団 関本クリニック 理事長 関本雅子氏	70名
終末期ケア 普及 フォーラム	11月2日	ニチイ学館神戸 ポートアイラン ドセンター	講演 『死の授業～誰にでもおとずれる最期 (死) をどうむかえますか』 医療法人社団裕和会理事長 長尾クリニック院長 長尾和宏氏	245名

⑦ 介護人材確保推進委員会

介護のやりがい、素晴らしさを啓発するため、リーフレットを増刷し、推進施設の協力の下、県下中学・高校等へ出前授業を実施した。また、小学生・中学生を対象にしたリーフレット・動画をリニューアルした。人材確保を図るため、介護福祉士養成校での就職出前プレゼンテーションの開催や、当会のHPの求人情報の発信機能を強化する等、県と連携を図りながら介護業務のイメージアップの推進を図った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護人材 確保推進 委員会 (10回)	4月16日	ニチイ学館神戸 ポートアイラン ドセンター	<協議事項> 1. 平成30年度事業報告について 2. 平成31年度事業について ①就職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③介護技術コンテストについて ④DVD・リーフレットリニューアルについて ⑤HPについて	9名
	6月11日	県福祉センター	<報告事項> 1. 就職出前プレゼンテーションについて（関西 保育福祉専門学校） <協議事項> 1. 令和元年度事業について ①就職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③介護技術コンテストについて ④DVD・リーフレットリニューアルについて ⑤HPについて	8名
	7月17日	兵庫県民会館	<協議事項> 1. 就職出前プレゼンテーションについて（大原 学園、神戸リハビリテーション福祉専門学校） <協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて 委託会社選定説明会 2. 就職出前プレゼンテーションについて 3. 介護技術コンテストについて 4. HPについて 5. イメージアップ推進員派遣事業について	8名
	8月26日	県福祉センター	<協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて ①委託会社選定会打ち合わせ ②委託会社 企画プレゼンテーション ③委託業者選定について 2. 介護技術コンテストについて 3. イメージアップ推進員派遣事業について 4. HPについて 5. 令和2年度予算要望について	9名

	9月20日	兵庫県民会館	<協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて 2. 介護技術コンテストについて 3. イメージアップ推進員派遣事業について 4. HPについて	7名
	11月7日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和元年度「介護技術コンテスト」について <協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて 2. イメージアップ推進員派遣事業について 3. HPについて	9名
	12月18日	県福祉センター	<協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて 2. イメージアップ推進員派遣事業について 3. HPについて	9名
	1月20日	兵庫県民会館	<協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて 2. イメージアップ推進員派遣事業について 3. HPについて	8名
	2月21日	県福祉センター	<協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて 2. イメージアップ推進員派遣事業について 3. HPについて 4. ひょうごケア・アシスタントチラシの校正について 5. 令和2年度事業計画について	9名
	3月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. DVD・リーフレットリニューアルについて 2. 介護技術コンテストについて	6名

<p>イメージアップ推進員派遣</p>	<p>4月～2月</p>	<p>各 小・中・高等学校、団体</p>	<p>介護の魅力を伝えるため、推進員を派遣 (阪神) 小園小学校、園田南小学校、園田東小学校、百合学院小学校、園和北小学校、園田小学校、園田北小学校、富士小学校、鳴尾中学校、真砂中学校、山手・潮見・精道中施設体験有志、清和台中学校、園田学園高等学校、西宮今津高等学校、伊丹西高等学校、宝塚東高等学校、阪急逆瀬台アヴェルテ自治会、安倉地区まちづくり協議会 (東播磨) 別府西小学校、平岡小学校、東神吉南小学校、平荘小学校、平岡中学校、西脇中学校、西脇南中学校、西脇東中学校、黒田庄中学校、滝野中学校、明石南高等学校(2回)、加古川南高等学校(2回)、多可高等学校(2回)、三木東高等学校、吉川高等学校(3回) (姫路) 林田小学校、伊勢小学校、谷外小学校、勝原小学校、高浜小学校、高丘中学校、朝日中学校、城乾中学校、大津中学校、花田中学校、白鷺中学校、林田中学校、飾磨中部中学校、広畑中学校、菅野中学校、播磨高等学校、太子高等学校、網干高等学校 (西播磨) 石海小学校(4回)、八千種小学校、田原小学校、高岡小学校、福崎小学校、福崎西中学校、上津中学校、上月中学校(2回)、龍野北高等学校、相生市看護専門学校神崎高等学校 (但馬) 高柳小学校、浜坂中学校、日高西中学校、城崎中学校、八鹿青溪中学校(2回)、朝来中学校、村岡中学校、関宮中学校、養父中学校、生野高等学校(3回)、香住高等学校 (丹波) 西紀南小学校、山南中学校、柏原中学校、和田中学校、青垣中学校、春日中学校、市島中学校、氷上中学校 (淡路) 神代小学校、津名中学校、由良中学校、東浦中学校、五色民生児童委員協議会、すいせんホーム地域住民</p>	<p>82校 4団体</p>
<p>出前プレゼンテーション</p>	<p>6月～7月</p>	<p>各 介護福祉士養成校</p>	<p>関西保育福祉専門学校 ハーベスト医療福祉専門学校 神戸リハビリテーション福祉専門学校 大原医療福祉&スポーツ保育専門学校</p>	<p>4校 4回</p>

介護技術 コンテスト	11月2日	ニチイ学館神戸 ポートアイラン ドセンター	特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 田中萌義氏 地域密着型特別養護老人ホームほほえみ 中林知嘉良氏 特別養護老人ホーム中山ちどり 安井綾子氏 特別養護老人ホームグリーンハウス 油谷まり子氏 特別養護老人ホーム和寿園 石橋 薫氏 特別養護老人ホームななくさ白寿荘 足立雅人氏 養護老人ホームかるべの郷あじさい 鎌田亜美氏 特別養護老人ホームヘルシービラ加美 谷川智昭氏 特別養護老人ホームあそか苑ももは マティアス チャリス デラクルズ氏 特別養護老人ホームはなみずき 西田有哉氏	170名
パソコン 研修	11月20日	兵庫県庁	研修『実務者のためのExcel活用研修』	12名
	12月18日	兵庫県庁	研修『実務者のためのExcel活用研修』	13名
	12月4日	兵庫県庁	研修『ExcelVBAの基礎取得研修』	16名
介護業務イ メージアッ プ啓発ツ ール作成	リーフレット：5万枚 「楽しく介護」 配布先：会員事業所 動画：HPに掲載			

⑧ 養護部会

介護保険施設として、様々な外部サービスを活用出来る可能性とともに、ケアできる介護度の幅も広がり利用者の自立支援に向けて、ソーシャルワーク機能の実践を基盤とした養護老人ホーム独自の役割・機能・ケアの在り方、地域包括ケアシステムについても、部会・研修会を通じて学び、会員施設からの意見・提案・課題にも応えた。

また、会員施設の現状分析として利用者の状況調査を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 (3回)	5月30日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 令和元年度事業計画について 2. 令和2年度予算対策について	4名 オブザー バー 1名
	7月29日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 令和元年度事業計画について 2. 令和2年度度予算対策について	3名
	2月6日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 令和元年度事業計画について 2. 令和2年度事業計画について	4名

第1回 職員研修会	10月31日	県福祉センター	講義 対人関係の構築について 日本ケア・カウンセリング協会 代表 品川博二氏	45名
第2回 職員研修会	1月21日	県福祉センター	講義 『養護老人ホームにおける“生活ルール”と 生活支援に関する調査』の結果から 東海大学健康学部健康マネジメント学科 教授 中野いずみ氏	36名
施設長 研修会	2月18日	県福祉センター	講義 『兵庫県内の養護老人ホームの動向』 ～県の補助金、指導・監査の状況等を中心に～ 兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課 介護基盤整班主幹 大野桂氏 講義 『養護老人ホームのあり方について』 城西国際大学 福祉総合学科 教授 清水正美氏	31名

⑨ 軽費・ケアハウス部会

軽費・ケアハウスの経営に「修繕費」がどのように影響しているか、予算要望に繋げるような調査研究をするために協議した。また、職員研修会では、入居者が参加したくなるレクリエーションについて学んだ。施設長研修会では、リスクマネジメント、施設長の役割を学んだ。

軽費老人ホーム事務費補助金の一般財源化に伴う予算確保について、引き続き県に予算要望を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
軽費・ ケアハウス 部会 (3回)	4月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 軽費・ケアハウス部会 部会長、副部会長の選出について 2. 軽費・ケアハウス部会運営・平成31年度事業計画について ①平成31年度事業スケジュールについて ②各種研修会・研究事業について ③平成32年度予算要望について	5名
	7月24日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成30年度 事業報告について <協議事項> 1. 令和元年度事業スケジュールについて 2. 令和2年度予算要望について 3. 各種研修会・研究事業について	5名
	10月18日	県福祉センター	<報告事項> 1. 兵庫県への要望 <協議事項> 1. 令和元年度事業スケジュールについて 2. 各種研修会について 3. 研究事業について	4名
職員 研修会	11月8日	県福祉センター	講義 『入居者様の閉じこもりを防げ！～参加したくなるレクリエーションとは～』 関西総合リハビリテーション専門学校 作業療法学科 前谷一旗氏	42名

施設長 研修会	2月14日	県福祉センター	講義 『リスクマネジメント、初期対応、マスコミ 対応について～施設長の役割として～』 びわこ学院大学 教授 株式会社リスクマネジメント研究所所長 鳥野 猛氏	34名
------------	-------	---------	--	-----

⑩ デイ部会

介護保険事業所としての会員の現状と今後の動向や課題等の把握を基本とし、選ばれるデイサービスとなるための事業所の経営、運営、サービスの質の維持、向上について部会で検討し、情報発信を行うとともに、ニーズに添ったテーマにおいて、会員事業所が情報を共有する機会として研修会を企画、実施した。

また、介護保険事業の現状と課題を整理し、兵庫県等への提言・要望を介護保険推進委員会と連携し実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
デイ部会 (3回)	4月10日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成30年度事業報告について 2. 平成31年度事業計画について <協議事項> 1. 実態調査票について 2. 各種研修会について	10名
	7月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 研修会について	7名
	3月2日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成30年度事業報告について <協議事項> 1. 令和2年度事業計画について 2. 令和2年度調査内容について 3. 研修会について	5名
職員 研修会	11月20日	のじぎく会館	講義 『デイサービスにおけるレクリエーションについて』 株式会社QOLサービス 川原つくし氏	63名
管理者 研修会	10月3日	県福祉センター	講義『管理者の役割とは』 スキルマトリクスラボラトリー 代表 知野吉和氏	69名

2. 情報発信事業

本会が実施している事業並びに会員の老人ホーム等が実施している事業やサービス内容等を会員及び広く県民に情報発信することを目的に、下記報告書等を発行するとともに、本会ホームページ上で公開した。

事業名	時 期	配布先	内 容	部 数
かけはし	8月・12月 2月・3月	会員事業所 関係団体等	かけはし103号～105号を発行し、会員施設並びに関係団体へ配布し、併せてホームページ上に掲載した。	各 2,000部 104号号 外 1,700部

サービス評価 事業報告書	年1回	会員事業所 関係団体等	自己評価支援を行った12施設と再評価2施設の客観的な評価結果を報告書にまとめ、広く会員施設並びに関係団体、一般に配布した。	800部
介護業務イメージ アップDVD・パンフレ ットの作成・配布	随時	会員事業所等	啓発用動画・リーフレットの内容をリニューアルし、作成のうえ会員事業所等に配布した。	新リーフ レット 5万枚 啓発用動 画
ホームページの 運用	随時	本会 ホームページ	会員事業所に介護保険情報等の各種情報をタイムリーに提供するとともに、広く県民にも本会の事業内容、会員事業所情報、求人情報等を公開した。	随時
調査研究委員会 報告書	年1回	会員事業所 関係団体等	平成29・30年度に実施した「外国人労働者に関する意識調査」をテーマに会員調査、座談会を冊子にまとめ、広く会員事業所並びに関係団体に配布した。	550部

3. 国・県への政策提言・関係諸団体との連絡事業

行政・各関係団体との連携を図るとともに、予算対策活動を実施した。

事業名	実施日	提出先	事業内容	参加人数
国・県予算 対策事業 (要望書の提出)	10月1日	県庁	兵庫県に対し、介護人材の確保・育成についてなど令和2年度予算に向け要望を行った。	9名
	10月1日	県議会	兵庫県議会に対し、介護人材の確保・育成についてなど令和2年度予算に向け要望を行った。	9名
	9月19日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、介護人材の確保・育成についてなど令和2年度予算に向け要望を行った。	2名
要望書に対 する回答会	2月13日	県庁	令和2年度予算要望について兵庫県より回答を受けるとともに、意見交換を行った。	10名
	中止	自由民主党県連	自由民主党県連より令和2年度政策要望に係る回答を受けるとともに、意見交換を行った。	

次期介護報酬改定に向けての経営実態調査分析結果に基づく意見交換	12月10日 ～11日	厚生労働省 関係国会議員	『次期介護報酬改定に向けての経営実態調査分析結果に基づく意見交換』 (面談者) 厚生労働大臣 加藤勝信氏 全世代型社会保障改革担当大臣 西村康稔氏 一億総活躍担当大臣 衛藤晟一氏 元厚生労働大臣 田村憲久氏 衆議院厚生労働委員会委員長 盛山正仁氏 自由民主党厚生労働部会長 平口洋氏 衆議院議員兵庫3区 関芳弘氏 〃 兵庫4区 藤井比早之氏 〃 兵庫5区 谷公一氏 〃 兵庫6区 山田賢司氏 〃 兵庫10区 渡海紀三朗氏 〃 兵庫11区 松本剛明氏 〃 兵庫12区 山口壮氏 参議院議員 末松信介氏 石田昌宏氏 加田裕之氏 大島一博氏 厚生労働省老健局長 厚生労働省老健局長関係各課 要望書提出 他多数 ※かけはし 号外により状況報告	9名
---------------------------------	----------------	-----------------	---	----

4. その他の事業

① 地域サポート施設推進事業

昨年度より兵庫県が新たに「地域サポート施設知事認定制度」を開始することを受けて、説明会を新制度下の認定事業所の事例報告を交えて開催し、さらに次年度に向けての説明会を開催した。情報交換会では、地域における公益的な取り組みについて、各事業所の取り組みの現状や課題について意見交換をした。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
委員会 (3回)	9月11日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度事業計画について ①委員会開催について ②研修会について ③情報交換会について 2. 令和2年度予算要望について	7名
	1月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和2年度認定申請について	4名
	3月9日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和元年度事業報告について <協議事項> 1. 令和2年度認定申請について 2. 令和2年度事業計画について ①第1回研修会 ②第2回研修会 ③情報交換会について	6名

研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修会 (2回)	11月22日	県福祉センター	行政説明 「地域サポート施設推進事業の現状と課題 について」 兵庫県健康福祉部高齢政策課 課長 坪井宏徳氏 事例発表① 特別養護老人ホーム千鳥会ゴールド 近藤悠子氏 湯本健作氏 事例発表② 特別養護老人ホーム第2シルバーコースト甲子園 木村幸子氏 原 賢氏	49名
	1月15日	県福祉センター	行政説明 「地域サポート施設の知事認定制度について」 兵庫県健康福祉部高齢政策課 課長 坪井宏徳氏 各市町・社協・地域包括ご担当者との意見交換会	43名

情報交換会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
情報交換会	11月22日	県福祉センター	「地域貢献活動について」をテーマに事業所で実施 している公益的な取り組みについて意見交換	49名

② 表彰・感謝事業

会員の各事業所に従事する職員等で、10年以上勤務し顕著な功績のあった者等に対して、本会定時総会において表彰した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容
表彰	6月24日	神戸メリケンパーク クオリエンタルホ テル	10年勤続職員 197名

③ ブロック助成事業

各ブロックにおける研修実施に対し、本会からブロック研修助成金を交付した。

(令和元年度ブロック助成事業報告書参照)

④ 青年部会運営助成事業

社会福祉法人や老人福祉施設の次代を担う人材の育成を目的に設置されている青年部会の事業推進に対し、
 本会から事業助成金を交付した。

(令和元年度青年部会運営助成事業報告書参照)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護の日 イベント	11月2日	ニチイ学館神戸 ポートアイラン ドセンター	1. 終末期ケア普及フォーラム 『死の授業～誰にでもおとずれる最期（死）を どうむかえますか』 医療法人社団裕和会理事長 長尾クリニック院長 長尾和宏氏 2. 介護技術コンテスト	245名

⑤ 高齢者福祉事業に関する連絡調整事業

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
近畿老人 福祉施設 研究協議会 《滋賀 大会》 への参加	7月18日 ～19日	びわ湖大津プリ ンスホテル	【1日目】〔全体会〕 ＜情勢報告＞ 全国老人福祉施設協議会 会長 平石 朗氏 ＜記念講演1＞ 『地域コミュニティの再生と社会福祉』 Studio-L代表 山崎 亮氏 ＜記念講演2＞ 『故人の想いに寄り添う～遺品整理からみる地域 社会～』 メモリーズ（株）代表取締役 横尾将臣氏 【2日目】〔分科会〕	98名
全国老人 福祉施設大 会 《茨城 大会》 への参加	11月20日 ～21日	アダストリアみとア リーナ 他	【1日目】〔開会式、全体会〕 ＜行政報告＞ 厚生労働省 ＜基調報告＞ 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 ＜記念講演＞ 『有人宇宙活動』 京都大学学際融合教育研究推進センター 宇宙総合学研究ユニット特定教授 宇宙飛行士 土井隆雄氏 【2日目】〔分科会〕	13名
全国老人 福祉施設 研究会議 《愛媛 会議》 への参加	10月29日 ～30日	松山市民会館他	【1日目】〔開会式、全体会〕 ＜基調報告＞ 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 ＜記念講演＞ 『夢のある人生』 テノール歌手 秋川雅史氏 ＜シンポジウム＞ 『全国老施協の災害支援体制とその取り組み 平成30年7月豪雨災害』 【2日目】〔分科会〕	38名

<p>近畿老人福祉施設協議会施設長研修会への参加</p>	<p>1月28日～29日</p>	<p>神戸メリケンパークオリエンタルホテル</p>	<p>【1日目】 行政説明① 『全世代型社会保障改革の動向』 厚生労働省 大臣官房審議官（総合政策担当） 中村博治氏</p> <p>講演① 『関西広域連合の9年間の取組』 『2030年を見据えた兵庫の高齢者施策』 兵庫県知事 井戸敏三氏</p> <p>講演② 『清水の舞台から』 清水寺貫主 森 清範氏</p> <p>【2日目】 講演③ 『日本(関西)の進路を読み解く』 大阪総合研究所 代表 辛坊治郎氏</p>	<p>381名</p>
<p>近畿老人福祉施設協議会施設長研修会実行委員会（6回）</p>	<p>5月17日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項> 1. 施設長1泊研修会について ①開催日時・場所について ②旅行会社への業務委託について ③研修プログラムについて ④スケジュールについて</p>	<p>8名</p>
	<p>7月2日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項> 1. 施設長1泊研修会について ①募集について ②開催要綱作成について</p>	<p>5名</p>
	<p>7月9日</p>	<p>神戸メリケンパークオリエンタルホテル</p>	<p><協議事項> 1. 施設長1泊研修会について ①役員の担当について ②開催要綱について ・講師について ・プログラムについて ・後援依頼について ③スケジュールについて</p>	<p>9名</p>
	<p>12月2日</p>	<p>神戸メリケンパークオリエンタルホテル</p>	<p><協議事項> 1. 施設長1泊研修会について ①役割分担について ②来賓について ③アトラクションについて ④申込み状況について</p>	<p>9名</p>
	<p>1月17日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項> 1. 施設長1泊研修会について ①役割分担について ②タイムスケジュールについて ③懇親会について</p>	<p>11名</p>
	<p>3月23日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><報告事項> 1. 開催報告について 2. 決算について</p>	<p>7名</p>

⑥ 災害支援・義援金活動

台風 19 号により被災した地域に対し、神戸新聞厚生事業団を通じて義援金を贈った。

事業名	時期	事業内容
義援金活動	令和元年 10 月 12 日～ 13 日	令和元年 10 月 12 日～13 日発生 of 台風 19 号災害へ義援金を贈った。 令和元年 10 月 12 日～13 日発生 of 台風 19 号災害へ義援金を神戸新聞 厚生事業団あて 75,000 円

5. 法人運営

法人の運営について協議するため開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
第 35 回 総会	6 月 24 日	神戸メリケン パークオリエン タルホテル	<報告事項> 平成 30 年度事業報告の件 公益目的支出計画実施報告の件 <議案事項> 第 1 号議案平成 30 年度計算書類承認の件 理事 16 名選任の件 監事 2 名選任の件	出席会員数 248 名 (内、委任状 出席 126 名)
第 36 回 総会	3 月 23 日	県福祉センター	<決議事項> 第 1 号議案令和元年度事業計画の一部変更 (案) 第 2 号議案令和元年度第 1 次収支補正予算 (案) 第 3 号議案令和 2 年度業計画 (案) 第 4 号議案令和 2 年度収支予算 (案) 第 5 号議案会費規程 (案)	出席会員数 257 名 (内、委任状 出席 229 名)
第 1 回 理事会	6 月 4 日	神戸メリケン パークオリエン タルホテル	<協議事項> 1. 平成 30 年度事業報告承認の件 2. 平成 30 年度計算書類承認の件 3. 公益目的支出計画実施報告承認の件 4. 理事及び監事候補者の理事会推薦の件 5. 総会に提案する理事及び監事候補者の承認の件 6. 総会の議題の承認の件 7. 表彰・感謝対象者選考、決定の件 8. 新規入会事業所について <報告事項> 1. 令和元年度部会・委員会構成・役割分担	出席者 理事 13 名 監事 1 名
第 2 回 理事会	3 月 5 日	県福祉センター	<決議事項> 1. 令和元年度事業計画の一部変更 (案) 2. 令和元年度収支補正予算 (案) 3. 令和 2 年度事業計画 (案) 4. 令和 2 年度収支予算 (案) 5. 総会の開催 (召集手続) 6. 新規入会事業所 <報告事項> 1. 新規入会事業所 2. 退会事業所	出席者 理事 14 名 監事 1 名
監事監査	5 月 22 日	県福祉センター	1. 平成 30 年度事業報告について 2. 平成 30 年度決算について 3. 公益目的支出計画実施報告書について	2 名
第 1 回 正副会長	4 月 5 日	県庁	<協議事項> 1. 令和元年度部会・委員会構成・役割分担につ	6 名

会議			いて 2. 事業の進め方について 3. 総会・協賛企業について 4. 県委託事業について ・ひょうごケア・アシスタント推進事業 5. 近畿老人福祉施設研究協議会施設長一泊研修会 6. 近畿老人福祉施設研究協議会	
第2回 正副会長 会議	5月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業報告 2. 平成30年度計算書類 3. 公益目的支出計画実施報告 4. 役員改選 5. 運営委員会・理事会・総会の開催 6. 表彰 7. 県他団体委員会委員等への本会役員等の就任状況について 8. 県委託事業等について 9. 令和2年度兵庫県の予算に対する要望等（県社協） 10. ケアプラン委員会謝金について <報告・依頼事項> 1. 平成30年度兵庫県からの受託事業	6名
第3回 正副会長 会議	7月2日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. ケアプラン委員会謝金について	6名
第4回 正副会長 会議	8月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. 県予算要望について 2. 県委託事業等について 3. 講師謝金について	6名
第5回 正副会長 会議	9月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 第2次技能実習生受入の進め方について 2. 県予算要望について 3. 県委託事業等について 4. 講師謝金について 5. ケアプラン研修会について 6. その他 ・介護業務体験学習推進事業プロポーザル推進委員会委員の推薦について 7. 新規入会事業所について <報告・依頼事項> ・近畿老人福祉施設協議会施設長研修会について	6名
第6回 正副会長 会議	11月11日	県福祉センター	<<協議事項>> 1. 国への要望について 2. 新規入会事業所について 3. 県委託事業等について 4. 車いすの寄贈について 5. 災害発生時における義援金支出について 6. 講師謝金について 7. その他 ・令和2年度経営者協議会総会・記念講演会につ	7名

			いて <報告・依頼事項> ・一般社団法人日本介護事業連合会主催セミナーの開催について ・介護現場におけるハラスメント対策について ・嘱託職員の選考について	
第7回 正副会長 会議	12月2日	県福祉センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 新規入会事業所について 3. 県委託事業等について 4. 台風被害見舞金（熊本県老人福祉施設協議会） 5. 介護現場におけるハラスメント対策について	6名
第8回 正副会長 会議	1月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 会費規程創設に伴う会員事業所の取扱い 3. 県からの委託事業について 4. 災害発生時における義援金支出について 5. ひょうごノーリフティングケアモデル施設認定審査会委員の選出について 6. 令和元年度近畿ブロックカントリーミーティングについて 7. 令和元年度兵庫県福祉サービス第三者評価調査者養成研修（高齢分野）に係る実習事業所の推薦について	6名
第9回 正副会長 会議	2月13日	県庁	<協議事項> 1. 令和元年度事業計画の一部変更（案） 2. 令和元年度収支補正予算（案） 3. 令和2年度事業計画（案） 4. 令和2年度収支予算（案） 5. 会費規程創設に伴う会員事業所の取扱い 6. 運営委員会・理事会・総会（案） 7. 入会事業所 8. 令和元年度県委託事業 9. 介護支援専門員模擬試験について 10. パソコン・サーバーリース（Windows7 サポート終了） 11. 近畿老人福祉施設協議会 決算について	6名
第1回 運営委員会	5月28日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業報告承認の件 2. 平成30年度計算書類承認の件 3. 公益目的支出計画実施報告承認の件 4. 理事及び監事候補者の理事会推薦の件 5. 総会に提案する理事及び監事候補者の承認の件 6. 理事会・総会の議題の承認の件 7. 表彰・感謝対象者選考、決定の件 8. 令和元年度部会・委員会構成・役割分担の承認の件 9. 事業の進め方の件 10. 新規入会事業所の件 <報告事項> 1. 令和元年度兵庫県からの受託事業	18名

			2. 各部会・委員会報告・ブロック報告	
第2回 運営委員会	2月26日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和元年度事業計画の一部変更(案) 2. 令和元年度収支補正予算(案) 3. 令和2年度事業計画(案) 4. 令和2年度収支予算(案) 5. 理事会・総会(案)の開催について 6. 新規入会事業所について 7. 令和元年度県受託事業等について <報告・依頼事項> 1. 退会事業所 2. 各部会・委員会報告・ブロック報告 3. 新規入会事業所	24名
部会長・ 委員長会議	7月29日	県福祉センター	<協議事項> 1. 各部会長・委員長報告・ブロック報告 2. 退会事業所 3. 未入会事業所	23名

6. 受託事業等

① 福祉・介護従事者キャリアアップ研修事業(補助事業)

福祉人材確保対策事業の一環として、老人福祉施設・事業所の福祉・介護従事者のキャリアアップを支援するための県の助成制度(補助)を利用して下記研修会を実施した。

[以下再掲]

ケアプラン基礎研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 基礎研修 (2回)	7月8日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームこぶし園 竹内幸一氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 共通事例概要説明 特別養護老人ホーム瀬戸内ホーム 森安志津雄氏 共通事例提出に関するオリエンテーション	24名
	8月29日	県福祉センター	事例演習① 事例演習② 参考事例説明『テーマ・優先順位・3ヵ月後の経過』 特別養護老人ホーム瀬戸内ホーム 森安志津雄氏 講義①『研修の総括』 邊見 豊氏	22名
ケアプラン 研修会	10月24日	県福祉センター	講義①『実地指導(監査)時の助言、指導内容を踏まえた施設サービス計画書の作成時における留意点』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	34名

② 介護人材確保・定着支援事業（補助事業）

介護職員の確保が喫緊の課題となっている状況において、将来に不安がある仕事との意識が根強いことから、やりがいを感じ、成長できる職場として、定着して働き続ける環境の整備が必要である。このため、介護職員の介護福祉士国家資格取得を支援するため、実務者研修受講料等の助成事業を行い、介護職員の離職防止や定着を促進することで介護人材確保を図った。

研修受講料助成	53 事業所 111 人
---------	--------------

③ 福祉・介護啓発事業（受託事業）

11月11日「介護の日」に合わせて、広く県民の方に、介護の素晴らしさを知っていただくことで、福祉・介護サービスの意義の理解や関心を一層深めていただき、福祉人材の確保へつながることを目的に、介護ロボットの展示と介護技術コンテスト実施の公開イベントを開催した。

[以下再掲]

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護の日イベント	11月2日	ニチイ学館神戸 ポートアイランドセンター	1. 終末期ケア普及フォーラム 『死の授業～誰にでもおとずれる最期（死）をどうむかえますか』 医療法人社団裕和会理事長 長尾クリニック院長 長尾和宏氏 2. 介護技術コンテスト	245 名

④ 介護技術講習会の開催（受託事業）

要支援、要介護になってもできる限り住み慣れた地域で暮らせるよう、家族の介護力を高めるため、利用者家族・地域住民等県民を対象として、特別養護老人ホーム等会員事業所で介護福祉士等が講師となり介護技術の講習会を開催した。

介護技術講習会の開催（再委託）	54 事業所 89 回 2,313 人
-----------------	---------------------

⑤ 高齢者等就労支援事業（受託事業）

高齢者等の特別養護老人ホーム等での就労を促進するため、介護に関する基礎知識・技術の修得（初任者研修、生活援助従事者研修の受講）を支援する事業を実施した。

コーディネーターの配置

本会にコーディネーターを配置し、県が実施した事業について、事業のPR、ひょうごケアアシスタント登録者の資格取得への推進、県と関係施設との間の連絡調整、委託契約及び実績報告のとりまとめ、実施施設への情報提供を行った。

資格取得支援	9 事業所 36 人
--------	------------

⑥ 介護職員等の終末期対応向上研修事業（補助事業）

介護職員等を対象とした終末期の方への対応力向上を目的とする研修等を開催した。

また、超高齢者社会になり、人生の最期まで安心して地域で暮らすために、多職種間連携を共に考える機会として県民を対象とした普及フォーラムを開催した。

介護職員等終末期ケア対応向上研修会	2回
終末期ケア普及フォーラム	1回

⑦ 介護業務イメージアップ推進事業（受託事業）

介護職員の確保が困難な中、将来の担い手となる中学生・高校生・大学生やその保護者・教員に向けて介護業務の魅力を発信するとともに、未就労者に対して介護業界への参入促進を図るため、就職出前プレゼンテーション等により介護業務のイメージアップに資する事業を実施し、ICTを活用した介護人材の求人情報の発信機能を強化しHPの充実を図り、長期的な視点での介護人材確保対策を推進した。

- ・介護人材確保推進委員会 10回
- ・就職出前プレゼンテーション 4校（4回）
- ・イメージアップ推進員派遣 82校 4団体
- ・介護技術コンテスト 1回
- ・パソコン研修 3回
- ・介護業務イメージアップ啓発ツール作成 新リーフレット5万枚 会員事業所等
動画をHPに搭載

⑧ 介護人材確保に向けた市町・団体支援事業（補助事業）

既に就労している介護職員の資質の向上を図るため、介護福祉士実務者研修等を修了した者に対し、研修費用の補助を行った。対象は県内の老人福祉施設に勤務している介護職員又は勤務しようとする介護職員とし、受講料の一部相当額を補助し、若手介護職員のフォローアップ研修の受講料の一部相当額を補助した。また、介護職員先輩エルダー養成研修事業の集約をした。

介護福祉士実務者研修等受講料補助	3事業所 3人
若手介護職員フォローアップ研修 受講料助成	9事業所 16人
介護職員先輩エルダー養成研修	3事業所 5人

⑨ ひょうごケア・アシスタント推進事業（補助事業）

介護業務に接する機会がない高齢者や子育てが一段落した女性等の地域住民（一般県民）に、介護業務への関心や魅力を関してもらえよう、介護老人福祉施設や介護老人保健施設において、「ひょうごケア・アシスタント」(CA)として、介護の補助的業務が体験できる機会を設けるための事業に要する経費等を補助することにより、介護現場への多様な人材の受入を促進し、介護人材の確保を図ることを目的に実施した。

介護老人福祉施設実施施設数	55事業所
ケア・アシスタント参加数	115人
研修終了後の継続就労者数	82人